

報告 徳島小松島港 ポートセミナー 開催日 2/8

徳島グランヴィリオホテルにて、徳島小松島港振興協会・徳島県の主催、ジェット口徳島貿易情報センターの後援により、平成21年度 徳島小松島港ポートセミナーが開催されました。

徳島県運輸政策総局より、徳島小松島港の概要について説明した後、釜山航路を運航している3つの船社日本総代理店による定期コンテナ航路の紹介、その後、社団法人日本ロジスティクスシステム協会の北條英氏による「ロジスティクス分野における温暖化防止の取組みと今後の課題」と題した講演が行われました。

コンテナ航路の増便により、今後のさらなる港湾の利用と、船舶へのモーダルシフトによるCO2削減が期待されるところです。



告知 徳島阿波おどり空港の 供用開始 4/8

徳島空港の2,500m滑走路が、平成22年4月8日にオープンします。併せて、新空港ターミナルビルの供用も開始される予定です。

ターミナルビルの特徴は、ロビーを吹き抜けの開放感溢れる構造として、徳島県ならではの「文化・観光・物産」を紹介し、「観光立県・とくしま」を全国に発信します。

オープンを記念して、上海チャーター便や沖縄チャーター便が新たに予定されております。

今後、徳島県の観光交流、産業振興等において、「徳島阿波おどり空港」が新たな交流と地域振興の拠点として貢献し、全国に誇りうる「空の玄関口」となることを期待します。



徳島飛行場滑走路2,500m化の工事がこの度完了し、4月8日から新たに供用が開始される事となりましたので、ご報告させていただきます。

今回のように空港に新たな施設が完成した場合、空港の設置・運用管理者(徳島空港の場合は防衛省)は、航空機の運航に必要な情報として、完成した施設の規格等を記載した「航空路誌」と呼ばれるものを、航空会社等の関係機関に発送・周知する事が法律で義務づけられています。この「航空路誌」が有効となる日が、1~2ヶ月に1回程度で世界的に統一されており、平成22年4月8日は、8日とその有効日となっていることから、供用日が4月8日(木曜日)となりました。

4月8日からは愛称も「徳島阿波おどり空港」となり、皆様により親しまれる空港として、また、徳島県の観光、経済、地域振興の拠点として新たに出発します。

平成13年9月に現地工事に着手し、8年半の歳月を費やしましたが、地元松茂町をはじめ、関係者の皆様方のご理解とご支援により無事完成させる事ができました。改めて感謝申し上げます。

小松島港湾・空港整備事務所長 河西 博



出前講座の申し込み受付中!

当事務所では、海と空の「みなと」のこと、また当事務所の仕事について、広く皆さんに知っていただくために、出前講座(みなと学習、環境学習、防災学習)を開講しています。

楽しく学べる当事務所の出前講座、現場見学会のご依頼を受け付けています。



出前講座、現場見学のお問い合わせは…

当事務所 TEL (0885)32-3357 または、

ホームページ「暮らしを支える港湾と空港の話」

<http://www.pa.skr.mlit.go.jp/komatsushima/>

より、お問い合わせください。